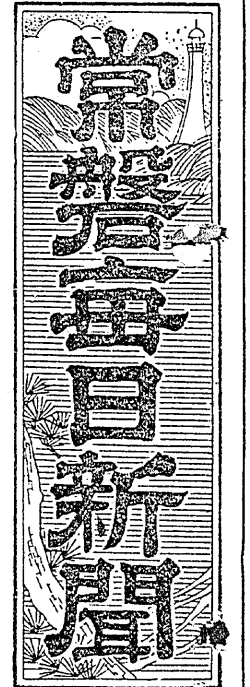


刊夕 日十二月六



定価 一部金五銭 月金五拾銭 郵費五銭
原稿料 五銭 七字 一行 金五拾銭
日曜 祭日の 翌日 休刊
発行所 常磐毒日新聞社
電話 六二〇〇
印刷所 常磐毒日印刷株式会社

人生行路難の打解と孝道の作興

麻生正蔵

(七)

假令如何に人類が進化發展しても、人間が人間であつて、その本性が變化せざる限り、此の孝道は永久に人生の向上發展、幸福増進の根本動力であることは相違ないのである。孝道は多少の盛衰變化はあるにしても、某國某時代に限られた一時一處の私道ではない。孝道は親が子を利用する爲に設けた我儘な、抑壓手段の教へではない。又「忠孝一本」の説を唱へ、上にある君主が下にある所の民衆の心を支配し、民衆を利用せんが爲に設けた私道でもない。それは人間に取りつての天然の公道である。實に人間の天性の本性、人間の自然の純情から生れ出た所の人間の公道である。だからそれは強ひて外部かあ塗りつけた所の金箔同様の偽道ではない。自發内發の眞の道である。

も知れないのである。けれども、それは自然の純情の流露から生れ出た道であると言ふ時の自然と言ふこと、必然と言ふことは別事であることを忘れて、混じつたものである。茲に謂ふ所の自然とは、苟も子である以上は、何人でも子たるもの、道である所の孝道を必然に守り行ふと言ふ意味とは意味が全然異なるのである。水が高きより低きに流れるのは必然である。それは物理の必然の法則に支配されて居るものである。併し苟も人の子である以上、何人でも必然に孝行者であらざるを得ないと言ふ物理的法則の如き意味をもつて、孝道を行ふものではないのである。それ故に、時には不孝の子もある。併しながら

ノット

總べて衣類を永保させるには續けて着ないで、代るは着て休ませ損まぬうちに縫ひ直すことが大切です。

であつたならば、親を愛し親を慕ふのが自然である。けれども今も述べた様に子は必然の法則に依つて親孝行をするのではないのであるから、往々にして親不孝の子もあり得る事を知らねばならぬ。

【朝】すまし汁—根いも油あげ
【晝】揚げだし—いわしなす—いんげん—しそ—大根おろし
【晚】酢みそ—かんぴょう—薄打ちさうり—めう

求、信而不怨、愛者不尤と言ふ忘我奉仕の愛である。かう言ふ親の純真なる愛情に對して、自然に懐かしく慕はしく感ぜない子供はあり得ないのである。これが私の所謂親子の愛情は自然の愛情であると言ふ所以である。従つて斯の如き私心私情のない純眞の愛情をもつて、孚み育て、くれた親に對して、孝行を捧げるのは、子供の自然の愛情である。之れが私の所謂孝行は自然の道であると言ふ所以である。けれども、時としては親親ならず、子子たる者がある。それ故に、親の道を説き、子の道を教へ育てねばならぬ。併し今述べた様に、普通正常の場合に於ては、凡ての親は純眞の愛情をもつて子を育て凡ての子供は純眞の愛情をもつて、親に孝行を捧げるのが常である。

三井タクシー 平町二丁目 電話五六八番

科人婦。科外 院醫坂井 町田町平 番九五五話電

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎巡回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

白ツボン

夏に 夏に 輕快…… 颯爽…… みるる。白ツボンは 貴方の容姿を よりシークに より活動的に

グラニット……1.20
白セトル……3.00
上等白ギヤバ……4.00
白綿ギヤバ…….95

ふかや洋服店 平三 電203

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科 小兒科 市原卯太郎
外科 一般、婦人科 市原陸郎
外科 梅毒、淋病 市原三三男

入院隨時

恐ろしい疫痢の流行期!!!

◎毎年六月始めより十月と申します
◎死亡率統計百人中六十五人以上として居ます
まづ豫防に經口免疫の 疫痢内服ワクチン

北里研究所製造 疫痢内服ワクチン
價格 幼兒一人分三十銭 大人一人分五十銭 (文獻進呈)

特約店 西村屋藥局 平町二丁目 電三

國道の側掘

延長千四百四十一間 愈よ來月上旬頃着工 總工費二萬五千圓

平町に於ける舗装道路の前提として國道の側溝新設は豫ねての懸案であつたが愈よ來月上旬頃から同工事を實施する事となつた

此内半額は縣費の補助があり残る半額を折半して六千三百五十四圓八十二錢宛町費と關係地元の負擔となる、故に關係地元では一間當り約四圓四十一錢宛の個人寄附を集める事となり、昨日午後一時より各區長が役場に參集して募集方法を協議した

に於て行ふ事になつたが組合せは午前平商對双葉、午後磐中對双葉、平商對磐中にて磐中及び平商よりの出場チームは左の三組宛である

と
(磐中)水野—松原 宮川
—大谷 小川—川隅
(平商)小林—鈴木 本田
—塚本 木田—安島
職員野球試合 平第一
小學校職員野球チームにては來る二十四日午後三時より高坂小學校に遠征し同校職員チームと試合を行ふ
磐中考査試験 磐城
中學校にては來る七月三日より六日間第二學期考査試験を行ふと

承り度しと

開き直つて

校外取締の協議

既報平町各中等學校及び各小學校の校外取締協議會は本日午後二時より磐中會議室に於て開かれる平商及び磐中より提出された左記事項に就いて協議した

一、校外監督状況承りた
一、本年度新に施設せられたる点あらば承りた
し 磐城中學校

庭球リーグ戦

磐中—平商—双中

庭球リーグ戦は來る二十一日午後一時より磐中二校の庭球リーグ戦は來る二十一日午後一時より磐中二校

民間請負を廢し

運搬まで直營に

小名濱築港愈よ本格的

石城郡小名濱町漁港修築事務所では既報の如く本年度より工事は愈よ本格的に入るの爲め從來工事に使用する砂利及石類等の運搬は殆んど民間側に請負はして居たが本年度よりは事務所直營事業として民間の請負を廢す

組合員の家族が

總出で田植を行ふ

石城郡神谷村大字鎌田字石坂農片寄伊之治助さん外四名は農事實行組合を組織し農家行事の共同作業により自力更生を計りつゝあつたが前記組合では昨十九日より所有田地三町三段の共同田植を三日間で行ふべく

組合長や組合員の家族總動員で着手した
駒場教官出張 平商
業學校配屬將校駒場教官は昨日仙臺工兵第二大隊に一周間隊附勤務を命ぜられ今朝平發五時四十分にて出張

農事の特別傳習

神谷試験分場を開く

石城郡神谷農事試験分場では來月七日午前九時より農事特別傳習會を開き午前は矢ヶ崎技手の秋蒔蔬菜の栽培法、午後は瀬戸技師の菜種栽培と利用法に就いて夫々講演があると

三女悦子
回 死 亡
△搔樋小路一 戸主原田庄

治郎(四五)
△一丁目二二 鐵之助四男
平野弘(一〇)
△四軒町五十 當時茨城縣
水戸市並松町一四〇九忠
太郎孫綠川季子(二〇)

蕪購入の資金借受

申請通り許可

石城郡四倉植田兩市場では過般蕪購入資金として縣保證に依り中央金庫に對し資金を貸り受け申請中の處此程四倉に五萬六千九百圓、植田に三萬四千圓の申込額通り許可の指令があつた

蕪市況(十九日)

△四倉市場
(出廻白蕪)二千七百七貫
(最高)六圓三十五錢(最低)五圓七十六錢(馴)五圓二十錢(黃蕪)百七十六貫(最高)六圓二十錢(最低)五圓七十一錢(馴)五圓十五錢
△植田市場
(白蕪)二百五十八貫(最高)六圓十錢(最低)五圓七十錢(馴)五圓八十五錢(黃蕪)五千貫(最高)五圓八十錢(馴)五圓九十錢

平町人事

△田町五一 鳥海菊五郎氏

七年の豆を

魚食堂
電話三三三番

大至急入用

飯炊持
三十才迄面談を要す

川井内科診療所

電話一八一番
川井重子
川井安子

八百屋お七を逆に

淺はかな放火

逢ひたさ見たさに六回も

嫌疑有力となる

最近平町立町、月見町方面に頻々として放火がある。ので平署で内偵の結果昨十九日立町一太一郎長男藤川武雄(一)假名を引致して取調中であるが同人は四丁目鈴木某の娘に數回艶文を送つたが返事がないので娘の家の附近に放火すれば逢へると云ふ淺果な考へから前後六回に亘つて放火した嫌疑が有力となつたので引續き嚴重取調中である。

十九日新天地プラデル農業開拓に出發すると

疑獄辯論

けふ續行

昨報小名濱築港疑獄事件の辯論續行公判は本日午前十時半より平支部に於て中島判事係關口、竹内兩判事陪席三堀檢察立會開廷「若し樗木の陳述通りであるとすれば贈賄の事件がないから全被告無罪でなくてはならぬ」と述べ被告長岡擔當の門傳辯護士の辯論に入る(正午記)

金が降る

昨日の降雨に

農家は救はる

坪當り六斗五升餘の雨

石城郡下各村では田植時に際して打續千天に水不足を告げ田植困難に陥つた反別は玉川村の二百町歩を第一に夏井、高久、大野、小名濱、内郷其他で千餘町歩に亘つた折柄昨十九日の降雨は正に農家にとつては『金が降つた』と云はれ其の降雨量は神谷農事試験分場での調査では坪當り六斗五升一合餘と云ふ最近にない量なので救はれた農家では同夜祝酒を擧げて大喜びであつたと

女生徒の見た

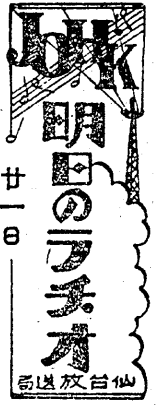
私のお母さん

一生懸命お仕事を

母親への同情

平第二小學校にては去る十一日の母の日に際し全校児童に對し「母」と題する作文を課したが其の一つをあげれば左の如くである

三年 佐藤キヨ
私のお母さんは大へんよいお母さんです、すこし



今晩も明日も北東の風薄曇り模様

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
お話「林子平先生」田邊一郎
後六、二五 趣味講演「盆石の趣味」勝野晴夫
後七、三〇 仙臺放送局開たい事だらうと思つてちやわんをあらつたり、ごはんをたべた所をかたづけ、お母さんはこれを見て、キヨありがたうといひます、私はこのことばをきいたときはうれしくて、たまりません

健康保険産婆

郡赤井村大字赤井字日渡黒木ハルさんは此程縣より健康保険産婆に指定された

千兩役者を夢見て

農繁期を目がけて家出

石城郡泉村字藤倉居住農加藤、義介さんの二男義雄(一)は本年四月俳優を志願して無断家出したが途中で取押へられ夫れから以後は家事の手傳をして居た處最近農繁期の稼ぎが嫌さに昨十九日朝再び行衛を晦したので本日平署に捜査方を願出た

圖畫實技練習

平圖畫教育研究會にては來る二十五日平警察署附近の廣場に於て實技練習を行ふと

平職業紹介所報告

△求人求める方
△外交員 二十五以下 高

明日の部

前一〇、三〇 家庭講座「水泳と耳の疾患」竹林秀雄
〇、〇五 満州より 満州音楽
後二、〇〇 婦人講座「歌の正しきうたひ方」廿一長坂好子
後六、〇〇 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ
後七、三〇 趣味講座「御

磐城共済病院

電話(六四一)番

内科 院長 石山謙
小兒科 佐久間粹
外科 有馬勇二
皮膚性病科 近日着任
産婦人科 有馬勇二
耳鼻咽喉科 石山謙
X光線科 石山謙
物理療法科 石山謙
衛生試験局 石山謙

諸橋外科醫院

醫學博士 諸橋鐵彌
平町新川町廿七(電話四六四)

開業
入院室 完備
手術室 完備

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演

近藤紫雲畫

第三百六十九席

物外と近藤勇

大事發覺
流石に伊藤も新撰組にては勇者と云はれた者、脇腹を押へて立ち上り、刀を引き抜いたが此の深傷の爲めに戦ふ氣力がないうら／＼とよろめいて挫と仆れた、



茲で直ぐにまた高臺院の屯所に人を出したが、其の口上は、伊藤先生が油の小路で斬られた、即刻にお出でくださいとのこと、これに於いて茲に居つた者が七八人、宙を飛んでかけて来たさア来たと見たから隠れてゐた者は是へ飛び出して抜き連れて斬つてかゝつた、斯くと見るよりこは大事發覺したかとは斬合になつたがいづれも血を浴びて来た者として其の激しいこと中にも服部三郎兵衛は兩刀を引き抜き五六人を相手に斬り合つたが多勢に無勢ついに斬り伏せられた。藤堂平助も茲で横死した、其の他三人程斬られた、後の者は一散に茲を遁れて薩摩の邸に逃げ込みました、是に依つて此の者共が薩摩の犬になつてゐたことも明かになつた、さもないれば今まで自分共に害を興へた新撰組の者を保護する譯が

接に殺した、それは何う云ふ事かと云ふに、慶應四年正月伏見鳥羽の戦ひに幕府の軍は敗れて慶喜公は江戸に戻り、上野の大慈院に入り謹慎したしたが、同四月江戸城を開け渡して水戸に

引き取りました、慶喜公は水戸齊昭公の嫡子故生家が引き取り謹慎いたす、此の折近藤勇は京都を去り同志の土方歳三と共に甲州に来て甲府の城を乗り取り中仙道から江戸に入る官軍を討たうとして勝沼まで戦ひました、勝沼は甲府の附近此の戦に敗れて八王子から下總に入り、流山に来て百五十人の同志と共に茲に居つて此上にも人を集め最う一度戦ふことにした、其の時は名を大久保大和と改め

の参謀香川敬三が

古河、彦根、津三藩の兵を率ゐて四月十五日に中仙道の入口板橋の驛まで来た、ところが流山に大久保大和と云ふ者が兵を率えて屯集してゐるとの事、問者を放つて様子を探せると、此

の大久保大和は何うやら近藤勇らしく思はれる、近藤勇の豪勇なることは知られてゐる、兵を向けて戦ひ近藤を殺すにしようとして、それまでには味方を多く損する、また此の戦に敗れると先方は彌々氣勢を増し人数も多くなるであらう、然うなつては一大事、何とか策を設けてこれへ呼び出して果して近藤であるか何うかを調べて上、其の人ならば斬首に處して官軍の威力を示さば彼の部下の者は戦ふ氣力も失せて解散するに違ひない、しかし先方で飽くまでも戦ふ意志があれば、呼べばと出ては參るまいと、また／＼問者を放つて探らせると、大久保大和は一人でも同志を多く集めて奥州に行き、會津の手に合するつもり、それですから今茲で戦ふ意志はない、これを探知した香川敬三が使者を立てた、大久保大和は土方歳三と共に此の後のことに就いて種々評議をしてゐた

「何うだ土方、官軍は兵を出すか、戦を挑むかな」
土「兵を出すであらう、しかし吾々の爲に敗軍しては官軍の威光も薄くなる依つて何うしたものかと今思案中であらうな……」

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町 電一〇七

入院應需
藤沼醫院
内小兒科 科科病柳花
平町南町 電話七〇五番

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

御用命は總て
印刷日每警常
印刷株式會社
電話三六〇番

全外科 醫學博士 渡部 義夫
小兒科 女 醫 渡部 きい子
内科
平町南町大通り(電話二七七番)
入院應需 **渡部 外科**

男女安全豫防藥
新發賣 **志のぶ錠**
しのだ錠は花柳病の豫防藥たるのみならず〇〇〇の外コシケ、子宮、内膜炎、腫加答兒並に婦人〇部の癢痒等の治療の目的に用ひられる事でも〇〇〇の豫防と治療の二重奏をなします
專賣所 **阿康藥舖**
平古鍛冶町(電話四四番)
妊娠を望む方は使用すべからず

夏服
シルクボーラー 拾六圓五拾錢
最上仕立三ツ組
ボーラーセビロ(上下) 八圓三十錢
黒セル上衣 三圓ヨリ
グラニット 一圓五十錢
白ズボン 五十錢ヨリ
白キヤラコ 三圓五十錢ヨリ
白セルズボン
平町四丁目停車場通
正札堂洋服店
(電話四三六番)

吉田眼科病院
平町南町、電話六八番